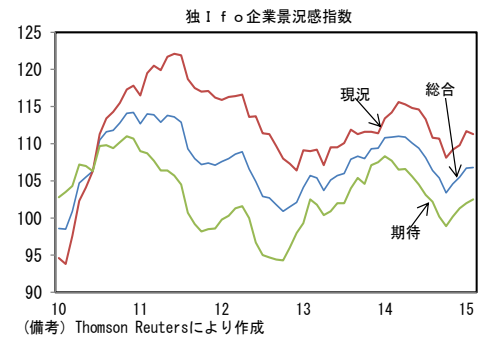
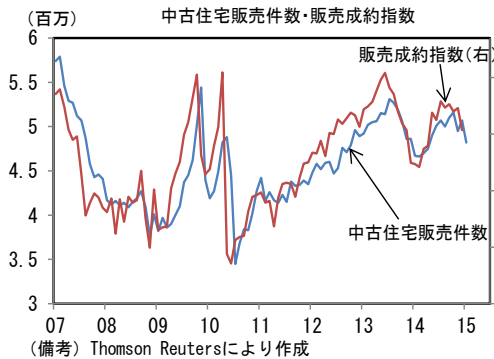


【海外経済指標他】～米指標：冴えない～

- ・ 1月米中古住宅販売件数は前月比▲4.9%、482万件。市場予想（495万件）は下回ったが、一連の住宅関連指標（中古住宅販売成約指数、NAHB住宅市場指数、着工件数）が何れも頭打ちになっていることを踏まえると今回の結果に意外感はない。内訳は主力の戸建て住宅が▲5.1%、集合住宅が▲3.5%と共に減少。もっとも、先行きは雇用所得環境が改善を続ける下、モーゲージ金利の低位安定が追い風となり回復に転じる見込み。在庫不足の足かせが残存するため回復は緩やかなペースに留まる見込みだが、供給側の要因であれば、さほど悲観する必要はないだろう。
- ・ 2月ダラス連銀製造業活動指数は▲11.2と前月（▲4.4）および市場予想（▲4.0）を大幅に下回った。ISM換算では48.2と22ヶ月ぶりに50割れ。発表済みの地区連銀サーベイをISM換算したうえで合成した指数は51.2と前月のそれとほぼ変わらず。2月ISMは横ばい圏内となろう。
- ・ 2月独IFO企業景況感指数は106.8と前月（106.7）から僅かに改善も市場予想（107.7）は下回った。現況（111.7→111.3）が悪化した一方、より重要な期待（102.0→102.5）が改善。2月PMIやZEW調査の改善と比較するとやや物足りない印象だが、ドイツ経済の再加速を示唆するには十分な結果。

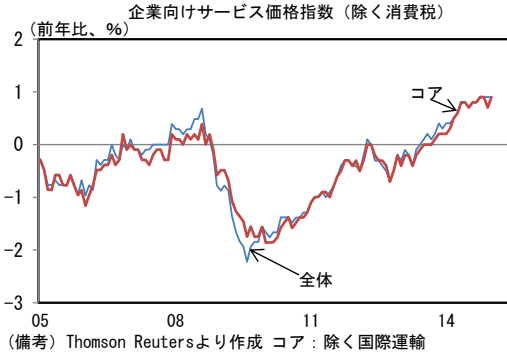


【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】～原油：再び50割れ～

- ・ 前日の海外市場、米国株は横ばい、欧州株は上昇。米国株は最高値更新した直後とあって利益確定売り優勢。原油価格下落に伴うエネルギーセクターの軟調も相場を下押し。
- ・ 前日のG10通貨はJPYとUSDが強かった一方、EUR、CHFの弱さが目立ったほか、原油価格下落を受けてNOK、AUDが軟調。ギリシャ問題が一服し、イエレン議長会見を控えていることもあり穏やかな一日となった。一時はUSD/JPYが119半ば、EUR/USDは1.13割れを記録するなど、USD高基調が強まる場面もあったが、長続きしなかった。24日日本時間でUSD/JPYは119近傍で一進一退（10：00）。
- ・ 米10年金利は▲5.4bpの2.057%。米指標が冴えない内容となり、米株もやや軟調に推移したため、米国時間に金利低下。欧州債はコア、GIPSともに堅調。ギリシャ支援延長の合意を受けて同国10年金利が▲59.2bp低下し、イタリア、スペイン、ポルトガルがそれに追随。

【国内株式市場・経済指標他】～企業向けサービス価格：堅調～

- ・日本株は前日終値付近で寄り付いた後、イエレン議長の議会証言を控えてもみ合い。
- ・1月企業向けサービス価格指数（除く国際運輸）は消費税を除いたベースで前年比+0.8%と前月から0.1%pt加速。企業物価指数（財物価）が下落するのをよそにサービス価格は堅調な推移となっている。



【注目点】～利上げの階段のぼる～

- ・USD/JPYは117-20をコアレンジとした展開が継続。昨年10-12月に急上昇した後とあって、さすがにUSD/JPY上昇に一服感がみられるが、そうした中で、もう一段の上昇に向けた準備が整いつつあるのも事実。筆者はJPYネットショートポジションが今やアベノミクス開始前夜（2012/11/13）の水準まで縮小していることに注目。USD/JPY上昇を見込んだポジションを再構築する余地は大きいとみている。
- ・目先のUSD/JPY再上昇のトリガーに成り得るイベントと言え、やはり今晚のイエレン議長の議会証言だろう。FEDは年央の利上げを有力な選択肢と考えている（とみられる）ため、この場に及んで過度にハト派的な発言は慎むはずだ。少なくとも、驚くほど強かった1月雇用統計を入手していなかった1月FOMC声明文よりはタカ派に傾斜した内容となろう。この点はUSD/JPY上昇を促す要因として認識しておきたい。
- ・ただ、注意したいのはイエレン議長の露骨なタカ派傾斜。2013年5月のTapering騒動がそうだったようにFEDの過度なタカ派傾斜はグローバルリスクオフを誘発する恐れがある。この場合、USD/JPYは投資家のリスク選好度低下によりJPYショートポジションが巻き戻されるため、円高に振れる可能性が高い。中長期的なUSD/JPY上昇予想に変更は無いが、FEDと市場の摩擦には注意しておく必要がある。

<主要株価指数>		
	終値	前日比
日経平均※	18458.08	-8.84
NYダウ	18,116.84	-23.60
DAX (独)	11,130.92	80.28
FTSE100 (英)	6,912.16	-3.04
CAC40 (仏)	4,862.30	31.40

<外国為替>※		
USD/JPY	118.93	0.11
EUR/USD	1.1336	0.00

<長期金利>※		
日本	0.376 %	-0.007 %
米国	2.057 %	-0.054 %
英国	1.799 %	0.034 %
ドイツ	0.365 %	-0.002 %
フランス	0.659 %	-0.025 %
イタリア	1.496 %	-0.081 %
スペイン	1.419 %	-0.083 %

<商品>		
NY原油	49.45 ドル	-0.89 ドル
NY金	1200.30 ドル	-4.10 ドル

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。
(出所) Bloomberg

日経平均株価 9:29 現在

NYダウ平均株価

USD/JPY

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。